



# KEIO BASEBALL AND MODERN JAPAN

Be Intelligent, Be Aggressive

春季企画展

慶應野球と近代日本 “ヘラクレス”から“Enjoy Baseball”へ

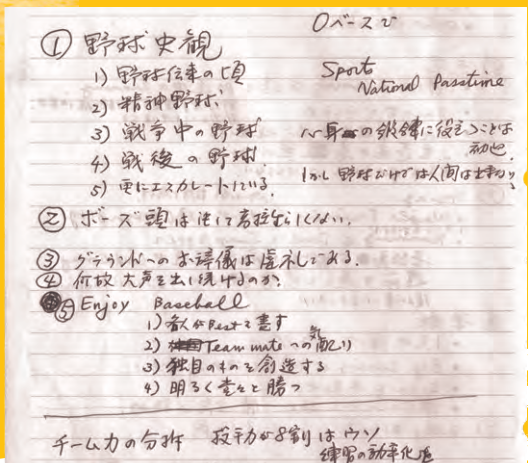
2022

6.6 ▶ 8.13  
mon sat

●開館日時：月～土曜日10:00-18:00 ●休館日：日曜日・祝日・8月1日～8月7日(夏季一斉休館) ●主催：福澤諭吉記念慶應義塾史展示館  
●入場料：無料 ●会場：〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾三田キャンパス内 慶應義塾史展示館 企画展示室(慶應義塾図書館旧館2階)  
●お問い合わせ | 電話：03-5427-1200 | メール：info@history.keio.ac.jp ●ホームページ：https://history.keio.ac.jp(事前予約推奨)

2022年は、日本人への野球伝来150年にあたります。慶應義塾は日本野球史には欠かすことができない数々の足跡を刻み、早稲田大学との伝統の一戦「早慶戦」は、世界三大スポーツ対校戦に数えられます。野球界に広く普及した早稲田式の「一球入魂」「野球道」に対して、慶應は「Enjoy Baseball」を唱え、異なるスポーツ観を提示してきました。その姿勢は歴史的に形成されたもので、福澤諭吉、そして日本野球の原点にまで遡ります。本展は、慶應野球を日本近代史上に位置づけながら、日本野球史上の貴重な資料と野球を巡る思想史をたどり、「Enjoy Baseball」の今日的意義を考えます。

「エンジョイ・ベースボール」とは、日本野球の常識に対する挑戦である。



- 1 慶應野球部に贈られた American Baseball Trophy (昭和3年 [1928])
  - 2 最初のアメリカ遠征の際贈られたトロフィー(明治44年 [1911])
  - 3 三田ベースボール倶楽部写真(明治24年 [1891])
  - 4 野球部初のハワイ遠征時の旅券(明治41年 [1908])
  - 5 野球部監督前田祐吉のノート(昭和62年頃 [c.1987])
  - 6 タイ・カップら大リーグのサインボール(昭和3年 [1928])
  - 7 早慶戦をモチーフにした日本人形(昭和初期 [c.1930])
- \*いずれも慶應義塾福澤研究センター所蔵



● 企画展開催記念講演会・シンポジウム(事前予約制)

- 6月25日(土) 13:00~16:00
- 講演会「野球はどこから、どうして」
- 講師：佐山和夫氏 (ノンフィクション作家、2021年野球殿堂入)
- 前田祐吉野球殿堂入記念シンポジウム「今、Enjoy Baseballを語る」
- 登壇者：清澤忠彦氏 (元投手、住友金属元監督、高校野球元審判員) / 上田誠氏 (慶應高校野球部元監督) / 堀井哲也氏 (慶應義塾大学野球部監督) / 前田大介氏 (前田祐吉元監督ご子息) / 上田まりえ氏 (スポーツキャスター、元日本テレビアナウンサー)
- 会場：慶應義塾三田キャンパス南校舎5階・南校舎ホール
- 申込方法：展示館ホームページ上で6月6日より受付 (申し込み多数の場合、中継会場あり)

● 企画展記念講演会・応援指導部アトラクション

- 出演：講演者 若林鶴雲氏
- 6月11日(土) 演目：「慶應名応援歌誕生物語」「慶應野球部三連覇物語」
- 7月16日(土) 演目：「出陣学徒壮行最後の早慶戦」「慶應野球部三連覇物語」
- 各日13:00~14:30
- 会場：慶應義塾三田キャンパス三田演説館
- 参加方法：会場に直接お越し下さい(先着順)

開催状況やイベントの詳細は必ず事前に当館ホームページをご確認ください。

